

表彰式 及び 特別講演会開催のご案内

平成29年10月23日(月)

ホテルニューオータニ東京 ザ・メインアーケード階 麗の間

表彰式

11:00 - 12:30

特別講演会

13:30 - 16:00

参加費

無料

主催

経済産業省

日本規格協会ホームページ (www.jsa.or.jp) よりお申込みください。

経済産業省では、10月の「工業標準化推進月間」に、我が国産業の発展に資するため、世界で通用する国際標準化人材育成、我が国における工業標準及び適合性評価活動の促進を図ることを目的として、工業標準化活動に貢献のあった個人及び組織を表彰する「工業標準化事業表彰（内閣総理大臣表彰、経済産業大臣表彰、産業技術環境局長表彰）」を毎年行っています。今年度は、表彰式と併せて特別講演会を開催することとしました。本講演会は、標準化活動に関する知識・経験の共有を図り、我が国の国際標準化体制の整備・強化につなげることを目的として、国際電気標準会議（IEC）元副会長の藤澤浩道様及び本年度内閣総理大臣表彰受賞者である自動認識コンサルタント代表の柴田彰様にご講演頂く予定です。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

特別講演会プログラム

13:30 13:40	主催者挨拶 経済産業省
13:40 14:40	特別講演 国際電気標準会議（IEC）元副会長 藤澤 浩道氏  <p>演 題 IECにおける国際標準化活動から学んだこと</p> <p>講演概要 IECに、専門委員会の議長や副会長兼適合性評価評議会（CAB）議長として10年余り関わってこられた体験を振り返り、そこで学んでこられたことについて語っていただきます。産業の振興や事業の成長に戦略的な国際標準化が重要であることが論じられて久しく、この間、地球環境問題の理解が深まり、それに応じた技術革新への期待が高まっています。それに従ってIECに対する期待や活動の重点も変化しており、よりクリーンなエネルギーの生産と供給、より効率的な利用のためのシステムや技術に関わる標準化に焦点が当たっています。また、適合性評価の国際制度に対する期待も増しています。IECの世界から見えたこれらの流れについて述べていただくとともに、特に深く関わられた再生可能エネルギー国際適合性評価制度の設立に至る過程についても紹介していただきます。</p>
15:00 16:00	受賞者講演 平成29年度工業標準化事業 内閣総理大臣表彰 受賞者 自動認識コンサルタント代表 柴田 彰氏  <p>演 題 QRコードの標準化と事業戦略</p> <p>講演概要 バーコードは、正確にかつ高速に機械で読み取ることができる入力メディアとして開発され、1980年代にスーパーマーケットの商品に印刷されて爆発的に普及しました。1990年代には、情報システムの進歩に伴い、大容量の情報を扱うニーズが高まり、米国において、高密度で情報を記録できる2次元シンボルが次々と発表され始めました。それらの2次元シンボルは特定のアプリケーションに主眼が置かれていました。そこで、(株)デンソーは(株)豊田中央研究所と共同で、いろいろなアプリケーションで使い易いQRコードの開発を目指し、1994年に完成されました。2000年代に入るとその使い易さが認知され、製造業を中心にQRコードの本格的な利用が始まりました。その後、携帯電話での利用が始まるとより身近な入力メディアとして多くの人が使うようになりました。今日に至るQRコードの普及の道筋で、結果として標準化活動が果たした役割は大きいです。柴田様にはQRコードの開発から標準化活動および知財活動にわたる事業戦略の経過について紹介していただきます。</p>

お問合せ先

一般財団法人 日本規格協会 国際標準化ユニット 工業標準化事業表彰担当 E-mail: khh@jsa.or.jp